

劇団態変

Alice Festival2012 参加

金満里ソロ公演

天にもぐり地にのぼる

Get into heaven, go up to earth

2012年

12月27日(木) 19:30

28日(金) 19:30

29日(土) 16:00

30日(日) 14:00

新宿・タイニエアリス

企画・製作

劇団態変

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路 1-15-15

TEL/FAX 06-6320-0344

taihen.japan@gmail.com

<http://www.ne.jp/asahi/imaju/taihen>

— ご挨拶 —

『天にもぐり地にのぼる』は、2010年大阪・ウイングフィールドで初演を迎え、好評を博し再演を待たれた作品です。その後2012年に大阪・メタモルホール、沖縄・キジムナーフェスタ招聘公演を経て、今回満を持して東京公演に臨みます。本作品は、故大野一雄氏の100歳を記念し行われた-Kazuo Ohno Festival 2007「百花繚乱」-で発表した『九寨溝の龍』を含む、全五つからなる作品群です。

作品の見所は、なんとといってもラストを飾る-九寨溝の龍-ですが、その前にあるシーンの-サルプリ-は、金満里が初めて韓国古典舞踊の振り付けを踏襲した舞で、観客の感銘を呼びました。

他、三遍も趣向を凝らし絶妙に配置され、いずれも必見の舞たちで構成されています。

Alice Festival2012 参加の機会を得て劇団態変でも東京では6年ぶりとなる今回、是非お見逃し無く多くの方々にご覧頂きたいと存じます。何卒ご協力のほど宜しくお願いいたします。

[作品説明]

「龍」それは天と地を行き来する架空の動物として、世界共通の不思議な存在です。

そんな龍をこの作品では、真白な子蛇から龍へと変容するさまに、人間の心の内面にある混沌を、韓国の精神を表す恨（ハン）、解消されない積もり積もった思いに重ね、ひ弱さと強さ、醜さと美しさ、の両方を描きます。

その先には、何ものにも囚われない宇宙まで広がる自由を求める止むにやまれない心の変遷を、金満里の身体ひとつで表現していきます。

再演を待たれ2年目の、今回の公演ではきっと、芳醇な作品としてお届けできるものと存じます。

天にもぐり地にのぼる

監修 大野慶人 作 金満里

宇宙の果てまで地から伸びゆく、この世とあの世の境目を見たいが為に
境目は一筋のなにものにも成り得る 祈りであり祈る力であり 透明に永遠に
無ということ、巨大なものに見せて 此処に有り 浸透するものとして

金満里

- 一場面 パンドラの匣
- 二場面 世の悪
- 三場面 銀河鉄道の夜
- 四場面 サルプリ
- 五場面 九寨溝の龍

日時

2012年 12月27日(木) 19:30
 28日(金) 19:30
 29日(土) 16:00
 30日(日) 14:00

場所

新宿・タイニイアリス 東京都新宿区新宿 2-13-6-B1

TEL&FAX 03-3354-7307

E-mail: tokyo@tinyalice.net

チケット料金

前売 3,000 円
当日 3,500 円
学生・シルバー 2,500 円
障害者・介護者ペア 5,000 円

チケット予約・お問い合わせ

キジムナーチケットセンター

◎劇団態変(電話/FAX) 06-6320-0344

(E-mail) taihen.japan@gmail.com

(インターネット) <http://www.ne.jp/asahi/imaju/taihen/>

金満里プロフィール

日本で活躍した韓国古典芸術家・金紅珠の末の娘として生まれる。3歳でポリオに罹患、全身麻痺の重度障害となる。

1983年劇団態変を旗揚げ、身体障害者の障害そのものを表現力に転じた身体表現芸術を世界に先駆けて創出してきた。芸術監督としてこれまで57作の作・演出を手掛け、自らも役者として出演。国内外での公演を重ねている。

また、身体の実在性から表現を引き出すワークショップや表現論講義も精力的に行い、2001年に英国エジンバラにて9日間のプロ俳優養成講座を指導、さらに2005年より3年間マレーシアの身体障害者への表現指導および公演演出を手掛けた。2011年には韓国にて現地の身体障害者と黒子スタッフを育成、組織し、近年の代表作『ファンウンド潜伏記』韓国2都市公演を挙行了した。

1994年指導に招かれたワークショップ企画を通じて大野一雄氏と出会う。

金満里ソロ年譜

1998.8	『MY MOTHER (ウリ・オモニ)』	エジンバラ Thatre Workshop	エジンバラ・フェスティバル・フリンジ 98
1998.11	『ウリ・オモニ』	大阪	扇町ミュージアムスクエア
1999.7	『ウリ・オモニ』	東京	タイニイアリス アリスフェスティバル '99
1999.8	『ウリ・オモニ』	ベルリン	Thikwa ateriet
2000.6	『ウリ・オモニ』	高知	高知県立美術館ホール
2000.6	『ウリ・オモニ』	ベルリン	シアターフォーラム・グロイツベルグ
2000.12	『ウリ・オモニ』	大阪	TORII HALL
2001.12	『ウリ・オモニ』	大阪	メタモルホール
2002.10	『ウリ・オモニ』	沖縄	パレット市民劇場
2004.11	『ウリ・オモニ』	台北	Crown Theater Little Asia Dance Network 招聘公演
2004.11	『ウリ・オモニ』	大阪	The Theater dB db 企画「大野一雄宇宙と花」
2005.10	『月下咆哮』	横浜	BankArt1929 Kazuo Ohno Festival 2005
2005.11	『月下咆哮』	大阪	精華小劇場 精華演劇祭 vol.2
2006.1	『ウリ・オモニ』	クアラルンプール	KLPac pentas2
2006.12	『月下咆哮』	東京	タイニイアリス
2007.1	- 九塞溝の龍 -	横浜	神奈川県立青少年センターホール 大野一雄百歳の年ガラ公演『百花繚乱』
2007.4	『月下咆哮』 より	静岡	バロン
2007.11	『ウリ・オモニ』 「月下咆哮」	大阪	ウイングフィールド
2008.1	『ウリ・オモニ』 「月下咆哮」	シンガポール	The arts House
2008.1	『月下咆哮』	ジャカルタ	TIM Teater Kecil
2010.3	『天にもぐり地にのぼる』	大阪	ウイングフィールド
2011.8	『ウリ・オモニ』	大阪	大阪大学 国際演劇学会 2011
2012.5	『天にもぐり地にのぼる』	大阪	メタモルホール